

## 6. 子ども等の安全確保

### (1) 子どもの交通安全を確保するための活動の推進

子どもを交通事故から守るため、年齢に適した交通安全教育を、民間団体等と連携して推進します。

ア

#### 交通安全教育の推進

子ども及び子育てを行う親等を対象とした参加・体験・実践型の交通安全教育を、段階的かつ体系的に行うとともに、地域の実情に即した交通安全教育を推進します。

#### 幼児の交通安全教育（市民サービスグループ・子育てグループ）

幼児の交通安全教育は、交通安全ルールを理解と安全に行動できる習慣と態度を身につけることを目標とします。

●平成15年度実績 こぐまクラブ交通安全教室年2回

#### 小学校の交通安全教育（学校教育グループ・市民サービスグループ）

小学校の交通安全教育は、家庭、学校を通じて、歩行者としての安全、自転車の安全運転、身近な交通規制を重点的に指導します。

●平成15年度実績

女性指導員による交通指導	4月～10月
新入学児童に対する交通安全啓発	4月上旬
新入学児童を交通事故から守る街頭啓発	4月上旬
シルバー交通安全指導員による啓発	4月上旬

#### 中学校の交通安全教育（学校教育グループ・市民サービスグループ）

中学校の交通安全教育は、自転車の安全な利用、自動車の特性に応じた安全な行動、交通事故の防止と安全な生活について指導を行います。

#### 高等学校の交通安全教育（学校教育グループ・市民サービスグループ）

高等学校の交通安全教育は、自転車の安全運転と車両としてのルール遵守、二輪車・自動車の特性に対応した交通事故の防止について交通社会に生きる一員として必要なマナーを身につけられるよう、交通安全指導を行います。



### 交通安全教育広報活動の推進（市民サービスグループ）

交通安全教育に関する広報活動を行います。

### 主要通学路等における交通安全指導（市民サービスグループ）

主要通学路等における交通安全指導員の立哨指導を行います。

### 社会を明るくする運動パレード（市民サービスグループ）再掲

7月は、青少年の非行防止と罪を犯した人たちの更生と理解を深める『社会を明るくする運動』の強調月間です。毎年関係機関の協力により、交通安全啓発とともに、街頭啓発パレードを行います。



#### チャイルドシートの正しい使用の徹底

チャイルドシートの正しい使用の徹底を図るため、チャイルドシートの使用効果及び正しい使用方法について普及啓発活動を積極的に行います。

### シートベルト・チャイルドシート着用の推進（市民サービスグループ）

自動車乗車中における死亡事故において、シートベルトを着用していなかった事故死亡者は6割を超え、その内3割はシートベルトを着用していれば助かったという結果がだされています。このことから、シートベルトの着用、チャイルドシートの後部座席設置による着用の意味について、あらゆる機会を通じて啓発を行います。